

コミュニケーションで災害に備える! (共助)

まずは家族と話し合しましょう

- ◎どこへ避難するか、何を持って逃げるか、どうやって連絡を取り合うかなど、災害が起こったときの行動について家族で「マイ防災マップ」を作成して話し合う。
- ◎決めた内容は、「災害・避難カード」に書き込み、普段から持ち歩く。



地域の人とも話し合しましょう

- ◎災害が起こったら、周囲の住民との協力が重要となる。
- ◎海田町主催の総合防災訓練や、地域主体の防災訓練、自主防災リーダー育成講座へ参加して、地域全体で災害に備える。



要配慮者への思いやり

- ◎高齢者や障がいのある人、乳幼児や妊婦、外国人など、特に配慮を要する人を要配慮者という。
- ◎要配慮者に必要な配慮について知り、災害時には自主防災組織などと協力して要配慮者の支援を行う。

●妊婦・乳幼児のいる家庭

- ・小さな子どもを抱えての避難は危険で、親子ともに大きな不安が伴う。
- ・アレルギーなどにも注意が必要となる。
- ・妊娠中の女性や産後間もない方は、健康面にも配慮が必要となる。

●高齢者

- ・避難に時間がかかる、自力で避難が難しいなどのため避難に不安を感じている場合があります支援が必要となる。
- ・認知症などの場合、状況判断を適切に行うことができない。

●外国人

- ・状況の把握や避難所でのコミュニケーションが難しい。
- ・宗教上の理由から食べることのできないものがある場合がある。

●障がいのある方

- ・災害に気づくことができず、適切な状況判断が困難で、逃げ遅れるおそれがある。
- ・速やかな避難が難しく、状況によりパニックになってしまうおそれがある。